

第7回 新型コロナウイルス対策支援本部会議記録

日 時：令和2年8月6日(木)

午前8時57分～午前9時37分

場 所：第 4 委 員 会 室

【本 部 長】 川神議長

【副本部長】 佐々木副議長

【本 部 員】 三浦議員、澁谷議員、岡本議員、柳楽議員、芦谷議員

【事 務 局】 古森局長、下間次長

【議 題】

1. 市長への申入れ（第2回）について

2. その他

【議事の経過】

〔 8 時 57 分 開議 〕

川神議長

皆さんおはようございます。ただいまから第7回新型コロナウイルス対策支援本部会議を開会する。今日はこの後に福祉環境委員会が控えている。

1. 市長への申入れ（第2回）について

川神議長

事前に皆にお願いしている、市長に対しての申入れ第2弾をどのようにしていこうかということで、前回の会議の時には、基本的に内容を更に市長に申入れをする方向で行こうということで、いくらか皆の意見を吸い上げて原案を作り、事前に皆にお配りしている。

昨日の夕方までにご意見をいただき、それを反映したものを雛形として皆にお示ししている。これについてご意見、もしくは追加、変更、削除する点含めてご意見いただきたいのでよろしくお願いします。

前回と比べ多少、具体的な内容に欠けると感じられるところであるが、ここに書いてあることをあらためて市長に申入れすることが大事だと思い、市長へ早急に申入れしたいと思っている。その背景には、今度、全員協議会の中で次の浜田市独自施策等々についての考えをいくらかお持ちだとのことで、我々がそれまでにきちんと申入れし、それをまた反映していただかなくてはならないので、更にスピード感を持って作業したい。よろしくお願いします。

この文書についてご意見はないか。

古森局長

昨日、三浦委員から修正点をいただいた。修正案として赤字の見え消しの形にしたものを出している。

（ 以下、申入れ案をもとに説明 ）

川神議長

更に付け加えると、この中の内容は先般のコロナ対策支援本部会議において各会派代表者から出されたものを尊重しながら、書き込んだものであるとご理解いただきたい。肝になる部分は3点ある。スピード感の問題、窓口一元化の問題、更には事業者、事業にスポーツ・文化団体といった、とても重要なまちづくり活動をしている団体への支援策が不十分ではないかということを含めて、書き込みしている。皆の率直な意見を伺いたい。意見、感想でもよい。

芦谷議員

中身は良いと思うが、2番で言うと情報提供、これを見ると、ここに書いてあるとおりで市の対応もまあまあなのだが、ホームページや国県の支援制度を含め、なかなか情報に疎い一般市民がアクセスしにくい欠点がある。自治体なので広報も活用しながら、手の届かない市民に情報提供する。市の本部会議内でしっかり議論していただき、窓口や電話相談で市役所に寄せられる地域の実情や市民の声を、いかにタイムリーに市は受け止めて情報提供するかだと思う。そういう意味では議長団には本部会議に行っておられるので、今のままで良いのかという連携もしてほしい。

3番目で言うと、まああるのだが、他自治体がやっていない、予算がない、制度がないということで、窓口で門前払いされる場合がある。是非

岡本議員

浜田市で打ち上げた施策は予算がなくなっても、プレミアム付き商品券のように、すかさず補正しながら対応する。これも議長団は市の本部会議の中でしっかり進捗管理しつつチェックしてほしい。

柳楽議員

各種行事やイベントの名簿作成について、これは少しきついのではないかと前回から思っていた。ここ1週間の中で私が所属する取組団体とやり取りする中で、参加者名簿を作成し、またそれを徹底してもらう形は、前向きに感じていただいているという観点から、冒頭言ったように少しきついのではないかと思います、この内容に書かれたように危機管理上必要な書類であると申し入れることは大事だと思っている。この全文について、これで良いと私は思う。

三浦議員

修正していただいたもので良いと思う。やはり、市民の皆に分かりやすい物というのが大事であるし、相談しやすい窓口が大事だと思う。企業に対しては担当課も積極的に声かけ等をされていると思うが、一般市民の声をどこで救い上げていくかは、すごく気になる場所である。そういった対応をしっかりといただけるようお願いしたい。

会派で話をして、昨今、感染拡大の様子が全国で大きくなってきていて、市民から不安の声をよく聞くということが話の中に出た。そういう認識を再度、確認するためにも、この一文を入れた方が良いのではないかなというのが1つ目。

2つ目は、イベントの参加者名簿を作成する他に、事業者においては発生した際にはどうするかを事前に備えておいていただくことを、きちんと指導・支援しておくことが感染拡大に繋がらない対策の1つとしては有効ではないかという意見が出た。総意としてこの2つについて加筆をしていただきたく、昨日提案した。

澁谷議員

他についてはこれでよろしいかと思う。

状況が刻々と変わっている印象を持つ。前回話し合ったことが1週間経ってみると、少し古く感じるようになってきている。そういう印象が出てしまわざるを得ないような状況だと思っている。

最初のリード文は大変見事だと思ったが、1、2、3は今読んでみると平凡なのではという気がする。今は感染者が出ることを前提とした対応を提案する時期にきているのではないかな。医療センターと連携を取って、浜田市は接触外来用のテントでも設置して、感染の疑いがある方を普通の病院窓口とは分けて対応するとか、感染者が出た際の誹謗中傷から市民を守る、家族や本人をまもるような仕組みや提案ということをする時期に来ているのではないかなという印象を持ってはいるが、この提案をするのは良い。

川神議長

皆の意見で、第1弾の時はもう少し具体的なものが出てなかった。あれはあれで非常に効果もあったし、メディアもそれなりに評価もあった。第2弾を出す必要性については議論してここに至っている。確かに皆の言われることはごもつともである。最近、毎日感染の実態が数字としてメディアに出ている。だんだん慣れてくると、重傷者数は少なくなっているのでは問題ないとか、様々な専門家の意見に国民が右往左往している状況が続いている。昨日はポピヨンヨードで、恐らく予防はムリだが、コロナウイルスの増殖を抑えると放送された途端に店頭から商品が消え

ていた。全国でも買い占めが発生している。

情報によって一夜にして世の中の流れが変わるような不安定な流れの中にある。改めて正しい情報を出していく部署、窓口もそうだが、そういった情報も含めて、どこに聞けば良いか分からない、どうなのかと。そういう方のためにも経済支援も含めて、窓口一元化することは大事だが、より分かりやすい説明で、彼らも最新情報を得ながら市民への対応をしていくといった、最前線の部署にいるということで、議会として取り組んでいきたいと思っている。

スピード感のある分かりやすい、と言うのは簡単だが、行政がどの程度本気でやっていただけるかは、市民の安心につながる。情報収集能力が強く問われると思う。その辺りを、申入れする際には併せて口頭でも伝えなければいけない。

先般のコロナ対策本部会議に出たが、はっきり言って私から見ても、コロナ対策に危機感を感じていない。いい加減なわけではないが、なぜそんなことを言うのかとか、なぜそれがきちんと整理されていないのかとか、そういうのはとても不安に感じる。知事がこういう方針を出したとか、島根県に対してはこうだとか、国はちょっと違ったとか。ではどこを信じていくのか。我々は9月末まで視察はやらないと決めた。こちらが聞きたいのは、今の時点で本当に首都圏に出張する場合の話が出るのか。丸山知事は、移動に関して制限はかけない、慎重さを持ってと言われるが、どんな用事で行くのか我々も分からない。本当に行かねばいけないのか。やはり行政と我々も足並みを合わせていかないといけないのだが、どうも一枚岩で動いていない感じがする。やるなら議会もそうだが、市民にきちんと示していかないと、各々の部署に任せるのは非常に厳しいと感じた。しきりに議会はどうしますかと聞かれたが、逆に執行部はどうなのか聞きたい。何となくファジーな雰囲気で行われている。それについてとても不安を感じている。

線引きは難しいが、限りなく、裏づけや今後を見据えて、本当ならこの頭には、もう間もなく石見にも感染の波が来る可能性が大だという前提のもとに進めなければいけないのではないかと。そういう意識でなければだめなのではないかとも言わせてもらいたい。

確かに少しインパクトに欠ける文章になるかもしれないが、その辺りはなかなかご理解いただきたい。ピンポイントではなかなか出しにくい状況もあるし、刻一刻と状況が変わっている。その辺りも見ながら、しっかり市長に申入れしたい。最終的にこれをもう一度見直して、こういう形で申入れをしていきたい。それを受けて17日の全員協議会でもしっかり拾い上げていただきたいと思っている。

古森局長

この内容で了解いただければ、市長に申入れの日程等を調整して、申入れをして、17日の全員協議会で出てくる第3弾にすぐ反映できるかどうかは予算的なことなので間に合うかどうか分からないが、難しいことがあればまた次以降ということもあるかもしれない。

三浦議員が出された部分で1つ教えてもらいたいのだが、発生した時の想定訓練とあるが、今、各事業所では発生した場合の危機管理計画を作るように各事業所で行っている。この前体育館で訓練もしましたが、防

災の出前講座をやっていて、そこにコロナを加えたような、今は難しいがそういうことができるかと思う。どういうイメージを想定されているのか。

三浦議員

会派メンバーの意見だったのだが、とある施設で少し発熱された方がいらっしやって、その際に施設内の危機感が高まったらしい。結局、陰性ではあったのだが、それを機に想定や準備が変わったらしい。いつ感染者が出るか分からない状況に、もうあるのだという、危機感のレベルを上げないと、ただマニュアル通りに計画書を作っておいた、みたいなものでは、いざ出た時に対応できないのではないかということを行った議員がいた。具体的にはそこまで掘り下げてないのだが、その事業所では社員や福祉施設や介護施設だと利用者がいるので、本当に院内や施設内で何かあったらどう対応するか、訓練しておく。実際にマニュアルを作るだけでなく。患者の搬送方法だとか。

古森局長
三浦議員

計画を基に実地訓練を、ということか。

はい。実際に施設の方々は意識して取組みされているらしいので、そういうのが良いのではないかという意味で。

古森局長
芦谷議員

承知した。

県も感染者がないからこの程度なのだが、もしあれば大変なことになると思う。総務文教委員会でも紹介したが、土日に学童野球をした。益田市は全選手の名簿を作り、朝に体温を測って出す。浜田はそんなことはしてない。ある集まりでは主催者側が検温をして、ある人の体温が少し高めだったためにその人は入れなかった。現場の感染症対策について、ある程度、他市の例も習いながら徹底することが大事である。本部会議においても徹底してもらいたい。

岡本議員

芦谷議員も言われたが、私のほうは日曜に大会を運営するのにそのとおりやる。各団体は県レベルで管理のガイドラインを作っており、議長も私と一緒に競技団体にいて競技する。私は当然だと思っていたので、それが違うのであれば、芦谷議員が言われるようにここの部分を掘り下げて、浜田市として競技団体や事業所がどういう実態を持って進めようとしているのか。情報をもらいながら、それも含めて我々としてはガイドラインと出た時の対策はどうかということで、次回提案したらどうか。

川神議長

これをお渡しして話をする。今、出た話は可能な限りお渡しする時に、議会の思いや、ここから読み取りにくいことについては一応、口頭でも付け加える。そこはお任せいただきたい。

古森局長

項目1の最後で、参加者名簿の作成とあるが、ここに検温実施等も入れ合ほうが良いのか。

澁谷議員

そういう具体的なものは、本当は議会がそこまで言うことなのか。当たり前のこととしているのではないのか。

岡本議員

私は、検温は当たり前のことで、敢えてここで言う必要もないだろうと思う。これは主催者が参加者について名簿を取って体調も聞いていくのだから、その時に、その入り口部分で検温するのは当たり前だと思う。議長が申入れする際に、実態としてはこういう動きがあるがこれも含めて徹底することと言ってももらうことが必要なのだろう。

芦谷議員

野球場を使う場合には代表者がこうだと紙一枚に書いて出す。浜田は

それで済む。益田は全部書いてある。言いたいのは、市で屋内・屋外含めて検温も含めて感染予防をどうするか決めていただき、そこでやってもらえば良い。しっかりした感染予防で他市のことも学びながら一番必要なことをやってくれ、ということだと思う。思い思いのことを言うと現場も混乱する。浜田は浜田方式で、代表者が一括して出せばOKならそれで良い。益田のように全参加者の名前を出して検温してくるかも含め、方向性の検討が必要。

澁谷議員

浜田市の緩さとかスピード感のなさとか。本来、浜田市が厳密にしようと思うと、浜田の窓口で検温をするとか。そこまで浜田市がするのかどうか。入られない方に対しては代行職員が住民票を取ったり、印鑑証明を取る作業をしないといけないかもしれないし。その辺り浜田市のポリシーが曖昧だからそういう意見が出るのかなと思った。

川神議長

例えば公の施設の管理の問題と、民間レベルのいろんな事が、バラバラになっている。今、何か起こったら感染防止の観点からいくとまずい。これが当たり前なのかどうなのか、スタンダードにならないと、当然だが皆、頭で分かっているが、感染が出てない状況なのでぬるいのだろう。感染が目の前に迫っているのを前提でやっていかないといけないのでは。出た時は即座にシミュレーションできるような体制を取らないといけない。

岡本議員

議長がそういうことを言われるのに対して、執行部に対して議長団、事務局も、コロナ対策本部会議に出られるわけだから、その反応を見てこれは少し緩いと感じたら、緩いと言うのではなくて、緩いものへ向けて我々が協力して提案することもあるべきだろう。探るというか、我々はいろんなネットワークを使ってどういう対策を、対応をしているのか調べ上げることも必要だろう。そういうことを付け加えてみたらどうかと。

芦谷議員

支援制度だが、結局、窓口で国や県の事を聞いてもほとんど理解されていない。それはそれで良いのだが、少しは窓口で国県の支援制度のことも学んで、できれば前の提言の時にホットラインを設けて、市からそこへ連絡して何とかするというのもあっても良いと思っていた。問題は、支援制度の隙間がないかというのを浜田市民に接する市役所なので、載っているもの以外にも支援制度から漏れがないか、電話相談や窓口対応等で是非探っていただき、この次に必要なものがあれば補正なりで提案してもらいたい。

川神議長

それ以外には。

(「なし」という声あり)

では、早急に日程調整して、この文章を持って公共でも捕捉を含めて皆の思いが伝わるようにしたい。議会の総意として申入れしたい。

2. その他

川神議長

その他にあるか。

三浦議員

最近、県内でも感染者が出ており、それによる二次被害、誹謗中傷があるという話が聞こえてきたりする。感染者が出た場合に氏名公表はどうするのか。自治体判断になるのか。誰が感染したということとか。

古森局長
三浦議員
古森局長
三浦議員
古森局長
三浦議員
古森局長

名前はこれまでも出てない。
では同じように、浜田市も仮に出た場合は。
個人情報には十分配慮して、というのが概要にもある。
議員や職員と出ているが。
それは出る。年代も。
例えば芸能人だと名前も出ている。一般人との線引きが分からない。
きちんとした線引きは私も理解していないが、不特定多数と接する可能性があった状況の場合には、その場所等を公表している。

三浦議員
柳楽議員

例えば私は、ここにずっと籠って仕事していた。接触者も議員だけだとなれば表に出ないかもしれない。窓口系でたくさんのお客さんと接するのだったら出るかもしれない。

古森局長

ケースバイケースか。
雲南市の場合はあまり市民と接触する人ではないが、どこのあれと出ていた。

岡本議員
古森局長
岡本議員
古森局長

県や市が出すことは基本的にはない。それ以外で動いていることは分からない。

申入れする文書が今日この時点で、タブレットに連絡するのか。

決裁を取らせてもらって。

逆に、議長団が申入れしたその日に入れるのか。

とりあえず日程が決まったら、この日にこの内容で議長から申入れする、と連絡したほうが良いのかな。「出しました」よりも。

岡本議員

この文書内容について、いつの時点で各議員に配信されるか確認したい。

古森局長
下間次長

日程が決まったらそれと合わせて出そうかと思っていた。

第1回のもものこのフォルダに入れている。そのような形で第2回分も入れれば良いと思っている。日にちが決まり、申入れを行ったら。

古森局長
川神議長
岡本議員
古森局長

今日の段階で市長の日程が調整できれば今日出すし。

市長に申入れの提出ができた時点ではなく、その前に。

ただ、訂正はもちろん受けないということで。

今は文書番号等が空欄の状態でお示ししているが、最終的に市長に出した日がここに入ったものが本当の最終版になるので、現時点でお渡しすることはできるが、その辺もきちんと入って議長のハンコを押した物の写しなら、当日出す。

既にこれを全議員にお知らせしているので、見てはおられると思う。
では申入れした日付の入ったもので。

川神議長

はい。それ以外になければ今回の会議を閉じたいと思うが、良いか。

(「はい」という声あり)

では日程調整を急いでやりたい。以上で第7回の会議を終了する。

[9 時 37 分 閉議]